

### 3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (北関東)		-	-
		スーパー（総務担当）	・今年に入ってからずっと、店全体の来客数が、前年をクリアしている。この先も悪くなる与件がない。衣料品も秋に入れば持ち直すとみている。衣料品の回復分で景気は少し上向くのではないかと。
		コンビニ（経営者）	・秋の行楽やギフト等の買上が始まるので、やや良くなる。
		衣料品専門店（統括）	・お盆を境に春、夏の祭りが終わった。これから9月に入ると秋の祭りに向けて準備が始まる。その間には客も動き出すのではないかと。
		衣料品専門店（販売担当）	・猛暑が収まれば、客の出足は随分良くなると思うし、これから秋口にかけて残暑があったにしても、それほど暑さとは考えにくいので、来月以降はやや良くなってくれるのではないかと期待している。
		自動車備品販売店（経営者）	・例年8月は余り良くなく、10～11月頃持ち直す傾向にある。それだけでみれば、今後は若干良くなるのではないかと。ただ、残念ながらこれといって良くなる要因は見当たらない。やや縮小傾向にあって、身の回りは少し沈滞気味である。自社努力を常にしていけば、周りもやや持ちこたえられるので、現状維持か、やや良くなる。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・近隣の競合施設開業から間もなく1年が経過するため、来客数が回復傾向にある。
		一般レストラン（経営者）	・今月は異常な暑さで食欲も失い、出歩いている人の姿も見かけなかった。10月以降、涼しくなるとクリスマスに向かって動きが出てくるとみている。
		旅行代理店（従業員）	・東京オリンピック関係で需要は増えるため、やや良くなる。
		通信会社（経営者）	・多少なりとも見積案件が増えてきたので、やや良くなる。
		ゴルフ場（総務担当）	・今年は閉場後に雨が降り、朝には晴天となっている。例年より雨天が少なく、さらに、グリーンにとって良好な天候が続いている。今後も天候次第ではあるものの、キャンセルが少ないまま推移する見通しである。Web予約は事前に組売り販売をしており、荒天でもキャンセルとならないことも上向きの要因である。
		設計事務所（所長）	・当地では公共工事の発注件数増加に伴い、建設関連を中心に、景気の上昇がつかえる。
		商店街（代表者）	・消費低迷の中、猛暑が続くようなら、街への外出は控え目になる。高齢者の外出は、かなり少なくなるのではないかと。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	・秋口になって、今年の異常気象がどう響いているのか。品物に影響があるとすれば、どうなるのかによって客の購買力が変わってくるので、今のところは変わらない。
		百貨店（営業担当）	・このまま高温が続くと、アパレルへの影響が心配である。
		百貨店（営業担当）	・相変わらず、天候や気温という要素が重要だが、売上が向上する兆しがみえず、今後2～3か月は大きくは変わらない。
		スーパー（商品部担当）	・特段変化はなく、販促強化スタイルも利益を圧迫しており、現状維持できれば「御の字」的な状況が続いている。
		コンビニ（経営者）	・7月までは結構良かったが、8月に入り旧盆中は来客数も減って、売上が下がっている。また、今後も同じような状況が続くとみているので、それほど良くはならない。
		コンビニ（経営者）	・同業他社の出店過多により、伸びがみられない。商圈縮小のために来客数が伸びないという外因を打破する、画期的な売上増につながる方法を見つけられていない。セール等で客単価を上げたい。
	乗用車販売店（経営者）	・当地域のボーナス支給率は、前年同月より推定10～20%ダウンとのことである。また、人手不足で求人もままならず、実際に面接に来てくるとして社会人として育てていない場合があるようである。いずれにしろ、お金は大規模小売店等以外には余り循環していない。	
	乗用車販売店（販売担当）	・今月はお盆で、かなり良い月になったが、2～3か月先は、紅葉時期と重なる。観光客、その他の動きはあるだろうが、8月ほどは極端に良くなると考えられないので、このまま変わらない状況でいくのではないかと。	
	住関連専門店（店長）	・来客数、客単価、買上点数共に、前年とほぼ同等である。	
	住関連専門店（仕入担当）	・改元、消費税増税、異常気象等の大きな変化に対する防衛手段として、消費を抑える傾向が続く。	

	その他専門店〔靴小売業〕（経営者）	・いまだに財布のひもが固いようである。新しい商材が生まれてくるのが待ち遠しい。秋物商材の早期導入をしてみたが、来月に動きがあるかどうかで良しあしが決まる。	
	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	・当面はやや良くなる状況が続くとみているが、海外との取引が多い取引先も多く、貿易摩擦の影響が次第に出てくる可能性があり、今後の見通しが立てにくい状況である。	
	都市型ホテル（スタッフ）	・9～10月の宴会売上見込みが、前年同月比を上回ってきている。宿泊も、団体客を多く受注しており好調である。	
	都市型ホテル（営業担当）	・現在、それなりに良い稼働を維持している。この先3か月と比べた場合、今年度上期は徐々に良くなっている上に、下がる要素も今のところはない。また、ぐっと良くなるような要素についても確定的な物はないので、変わらない。	
	都市型ホテル（副支配人）	・しばらくは、やや良い状態が続く。9月後半から10月にかけては、インバウンドの需要が見込まれる。	
	都市型ホテル（営業）	・今月は目標達成できたが、計画が低めに設定されており、来客数の動きは少なかった。今後も景気変動する要素は余りなく、現状と変わらない。	
	旅行代理店（経営者）	・夏休みの反動で、出費を抑える傾向がある。	
	旅行代理店（所長）	・行楽シーズンを迎えるが、天候の不安定さ等が懸念材料となる。大手旅行会社によるキャンペーンがどのような効果を現すか期待したい。	
	タクシー運転手	・今のところは、暑さと乗務員不足のため動きがあるが、暑さが過ぎれば、また元に戻るとみている。	
	通信会社（総務担当）	・モデルチェンジ直前で買い控えが予想される。	
	テーマパーク（職員）	・台風の発生が多く、不安定な天候が続くとみている。	
	競輪場（職員）	・他競輪場の売上もほぼ同様に推移しているからである。	
	住宅販売会社（経営者）	・年内までは現状の横ばい状態が継続する気配である。	
	一般小売店〔衣料〕（経営者）	・観光客が増えており外国人客も結構多いものの、観光客はなかなか買ってくれない。余り良くないのではないかと。	
	一般小売店〔家電〕（経営者）	・夏の暑さで物が動いているが、今後涼しくなれば、この動きも鈍る。また、景気対策に関して、客は結構敏感で、買い控えという形もあるとみている。	
	百貨店（副店長）	・前年9月に大型改装を行っており、一巡後の反動の影響が想定される。	
	百貨店（店長）	・記録的な猛暑の影響により、生活直結の食料品全般が高騰し、価格が高止まりしているため、やや悪くなる。	
	コンビニ（経営者）	・景気悪化で、やや悪くなる。	
	コンビニ（経営者）	・気温が下がるので、ソフトドリンク、アイスなどの売行きは下がる。	
	その他専門店〔燃料〕（従業員）	・受注が減少傾向で、前年比でも同様に推移している。	
	一般レストラン（経営者）	・台風や大雨の影響から、農作物の価格が上がり、財布のひもが固くなると予想している。	
	スナック（経営者）	・例年ならお盆以降、売上が落ちるので、今年も同様ではないかと推測される。	
	都市型ホテル（経営者）	・外食回数の減少で、やや悪くなる。	
	タクシー（経営者）	・全体的に動きが悪いので、この先も悪いとみている。	
	タクシー（役員）	・労働者不足で、やや悪くなる。	
	通信会社（局長）	・ガソリン価格の高騰が止まらない状態のままだと、体力のない企業が、息切れを起こして倒産する可能性もある。そうなると、不渡り等で連鎖が起きる可能性も考えられる。	
	設計事務所（所長）	・全体として現況はまずまずといった感じだが、今後については心配している方が多い。	
	×	コンビニ（店長）	・余りに状況が好転しないため、10月に大幅な店舗改装を計画している。10月はほとんど営業休止状態になるので、結果は最悪となる。
	×	通信会社（経営者）	・そもそも8月は休日が多過ぎて、売上は上がらない。
	×	美容室（経営者）	・外国の傘下に降った大手電機メーカーの、「いつかその日は来るだろう」と言われていたりストラ、配置転換に町中が戦々恐々としており、将来が非常に不安である。
	×	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・このところの天候不順は大きな要因ではないが、車の使用方法の多様化とメーカーの囲い込みは、確実に影響を受ける。加えて、人口減少、少子高齢化で保有台数減少に歯止めの掛からない状態が当分続く。
企業動向関連 (北関東)	その他製造業〔環境機器〕（経営者）	・本業以外で太陽光発電設備箇所が増えており、売電による安定収入が増える。	
	窯業・土石製品製造業（経営者）	・この夏は暑かったので、野菜類が高くなっている。秋になって暑さが収まり、自分で種まきや苗を育てたりすることで、土がたくさん売れるのではないかと。	

	金属製品製造業（経営者）	・新しい取引先から仕事が増えそうなので、期待している。	
	電気機械器具製造業（経営者）	・今の時点で10月までの注文があり、前年と比べても、まだ10%程度多くなる見込みで、しばらくはこの状態が続くとみている。	
	建設業（開発担当）	・現政権誕生後、公共工事は順調に推移している。当社受注も前年比5%増と順調で、一安心である。現政権を今まで支持してきたが、国有地売却関連問題や獣医学部新設問題など、国民の目からみて不信感が一杯である。また、今回の障害者雇用水増し問題は大きな問題であり、責任を考えた場合、長は全員辞任すべきであろう。一般国民は公共への不信感から納税意識がなくなる。	
	建設業（総務担当）	・想像以上に公共工事の件数がありそうである。	
	経営コンサルタント	・消費の高揚、設備投資や教育訓練等の広い意味での投資は、年度の間で落ち着き、ある程度の景気の盛り上がり期待できる。しかし、経済の上昇につながる企業のイノベーションへの取組が不十分である。	
	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・現状の商談件数、受注量からみて、収益は改善される。	
	化学工業（経営者）	・季節的要因を除いても、新規需要の話があるので向上することを期待しているが、さほど影響はないと思われるので変わらない。	
	窯業・土石製品製造業（総務担当）	・季節的要因、夏枯れが影響している。	
	金属製品製造業（経営者）	・発注担当者から、余り変わらないといわれている。	
	一般機械器具製造業（経営者）	・油圧建機、自動車、ロボット分野等、幅広い業界で高水準の受注残があり、まだしばらくは、忙しい状況が続く見込みである。	
	輸送用機械器具製造業（経営者）	・この2～3か月はまずまずで、取引先、受注、販売の動きも余り変わらない。今後も変わらず推移するとみている。	
	輸送用機械器具製造業（経営者）	・米国の関税問題次第である。	
	その他製造業〔消防用品〕（営業担当）	・しばらくはこのまま推移するとみている。	
	輸送業（営業担当）	・秋に向かい、季節商材の衣類や寝具、また、エクステリア、草刈り機などの輸送依頼は、前年並みに確保の予定である。しかし、現状の車両不足や燃料費の高騰も続きそうなので、利益確保は難しくなりそうである。	
	通信業（経営者）	・変わる要素がない。	
	司法書士	・現時点で、この先大きな変化がみられる兆候はないので、変わらない。	
	社会保険労務士	・10月に最低賃金が800円を超える予定のため、一部ではあるものの、賃上げを迫られる事業所が出てくるとみているが、大きくは変わらない。	
	食料品製造業（経営者）	・日本経済が来年から悪くなるという話が多くなっている。	
	不動産業（管理担当）	・取引先の管理経費の削減により、契約減額を求められているため、売上悪化が予想される。	
	広告代理店（営業担当）	・例年、秋の販促広告の出稿は下がる傾向のため、やや悪くなる。	
	×	電気機械器具製造業（経営者）	・新規取引先の生産動向が現状、はっきりしておらず、具体的な動きが不鮮明である。
雇用 関連	-	-	
(北関東)	人材派遣会社（経営者）	・現状、仕事がやや忙しく、これから売上が上がる。	
	人材派遣会社（管理担当）	・求職者が少なくなり、派遣単価が上がる予定である。単価が上がれば、求職者が増えて派遣人数も増加すると予測している。	
	職業安定所（職員）	・東京オリンピック等もあるので、今後もこの景気がまだまだ続く。	
	学校〔専門学校〕（副校長）	・例年に比べて、企業から求職者の状況を確認されることが多くなっている。また、企業から学校への個別訪問の機会も増えてきている。各企業が人材を集めるのに苦労している現状がよく分かる。	
	人材派遣会社（経営者）	・お中元、夏休み時期の学生アルバイト、パートの募集に、多少動きはみられた。今後も、継続的な募集と採用は変わらず、同じような状況とみられる。建設関連、小売販売、生鮮食品等の生産は、集中豪雨等での被災の影響が多少みられるが、伸びていく。	

	人材派遣会社（社員）	・ 求人数があっても求職者側の要求も高くなっており、企業側で募集条件の見直しがないと、採用は改善しない。
	職業安定所（職員）	・ 新規求人数及び有効求人数を前年度と比べてみても、ほとんど変化はみられない。有効求人倍率については求職者数が減少しているため、改善している。
	職業安定所（職員）	・ 有効求人倍率は平成29年5月以降、2倍前後で推移しており、大きな変動はない。
	*	*
x	-	-